

---

平成 26 年度  
多摩・島しょスポーツ振興事業助成事業

実 施 報 告 書

---

平成 27 年 3 月





## ■ 目 次 ■

I 事業概要	1
II 実施事業一覧	2
III 実施事業内容	5

### 資料編

資料1 多摩・島しょスポーツ振興事業助成金交付要綱	37
資料2 市町村共同事業助成金審査会設置及び運営要綱	40
資料3 市町村共同事業助成金審査会委員名簿	42



## I 事業概要

### 1 多摩・島しょスポーツ振興事業助成事業について

本事業は、市町村が実施するスポーツの振興に資する事業を支援することにより、多摩・島しょ地域の子どもの体力・運動能力の向上や住民の健康の増進及びスポーツ人口の拡大を図り、ひいては多摩・島しょ地域のまちの活性化及び魅力を高めることを目的に、次の事業に対し助成金を交付する事業である。

助成期間は平成 24 年度から平成 26 年度までの間とする。

\*平成 27 年度については、内容を一部改変のうえ実施予定とする。

なお、本事業は、東京都市長会の政策提言「多摩のスポーツ振興をめざして（平成 23 年 2 月）」を受け、平成 24 年度より助成事業として制度化したものである。

助成対象事業	<p>助成対象事業は、次の事業種別のどれかに該当し、助成期間内において新たに実施する事業のうち、市長会長が必要と認める事業とする。</p> <p>【事業種別】</p> <p>①継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業</p> <p>②子どもの競技力の向上に資する事業</p> <p>③スポーツを通じた地域活性化等に資する事業</p>
助成額	一市町村につき年間 200 万円以内

### 2 市町村共同事業助成金審査会

本助成金の交付にあたっては、市町村共同事業助成金審査会の審査に付したうえで、その可否を決定することとなっており、次のとおり実施した。

- (1) 実施日時 平成 26 年 4 月 11 日（金）午後 1 時 30 分～午後 4 時
- (2) 申請・審査件数 市町村数 28 件、事業数 36 件
- (3) 審査結果 適正事業数 36 件、不適正事業数 0 件

### 3 実施市町村数及び実施事業数

市町村数 28 件、事業数 36 件

事業区分	新規
①継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業	6 件
②子どもの競技力の向上に資する事業	6 件
③スポーツを通じた地域活性化等に資する事業	24 件
実施事業合計	36 件

## Ⅱ 実施事業一覧

市町村名	事業名	掲載 頁
八王子市	トップアスリートの技を学ぼう	5
立川市	地域スポーツクラブジュニア育成補助金	6
武蔵野市	ファミリースポーツフェア2014特別イベント 「からだを動かすってたのしい！」親子で体操	7
青梅市	子どもわくわく体カアップ推進事業～走るの大好き青梅の子～	8
	スポーツ講演会	8
府中市	「ふちゅうロープチャレンジ∞」	9
昭島市	市民綱引き大会	10
	昭島市制60周年記念スポーツ振興イベント	10
町田市	出張！サッカー&スポーツ栄養学	11
	スポーツイベント	11
小金井市	チャレンジデー事業	12
小平市	FC 東京選手によるトークショーとサッカー教室	13
日野市	ひのっ子体カアッププラン（走力向上）	14
東村山市	「スポーツの力で 町に笑顔を！」プロジェクト	15
国分寺市	史跡駅伝事業	16
国立市	国立みんなのスポーツプラン	17
	スポーツ夢プラン	17
福生市	ジュニアスポーツ体験・育成事業	18
東大和市	東大和市ボウリング大会（教室）	19
清瀬市	小・中学生の競技力向上事業	20
東久留米市	子どもの体力運動能力向上事業	21
武蔵村山市	武蔵村山市少年・古希軟式野球チーム親善試合事業	22
羽村市	小・中学生サッカー技術力向上事業	23
あきる野市	著名講師による卓球教室とトークショー	24
	著名講師によるソフトテニス教室とパネルディスカッション	24
西東京市	子どもの競技力向上短期集中講座	25
日の出町	多摩・島しょスポーツ振興事業 元プロ野球選手による講演会	26
檜原村	檜原村スポーツ教室	27
利島村	ジュニアサッカー育成事業	28
新島村	子どもの競技力向上スポーツ教室事業	29
神津島村	島しょサッカー大会地域活性化事業	30

## 多摩・島しょスポーツ振興事業助成事業

---

御蔵島村	御蔵島村民スポーツ教室	31
青ヶ島村	青ヶ島サッカークリニック	32
	体と心ほぐし教室	32
	レイメイキング・フラダンス教室	33
	丸山 秋のウォーキング大会	33





### Ⅲ 実施事業内容

#### 八王子市

##### トップアスリートの技を学ぼう

事業種別	スポーツを通じた地域活性化等に資する事業
実施期間	平成 26 年 11 月 9 日
事業概要	スポーツを通じた地域活性化を図るため、プロスポーツ選手を招き、集客力の高いスポーツイベントを開催した。また、26 年 10 月に供用を開始した総合体育館（エスフォルタアリーナ）で事業を実施し、周知・宣伝を併せて行った。

##### 【内容】

多治見麻子氏、櫻井由香氏（バレーボール）佐々木博和氏（フットサル）を講師として招き、実技指導、質疑応答、記念撮影などを行った。

1部 小学校4年～6年男女（バレーボール、フットサル）

2部 中学生～大学生の女子（バレーボール、フットサル）

##### 【実施場所】

八王子市総合体育館（エスフォルタアリーナ）

##### 【参加人数】

102 名（実施指導参加者）430 名（観覧者）430 名 計 532 名



**立川市**

**地域スポーツクラブジュニア育成事業補助金**

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 平成26年5月から平成27年2月

事業概要 市内12地区の地域スポーツクラブにおいて、子どもの競技力向上に資する事業を行ったクラブに対し、1団体50,000円を限度とする補助事業を実施し、子どもの競技力向上を図った。

【内容】

平成26年度地域スポーツクラブジュニア育成事業補助金実績

	交付団体名	金額	事業名	事業内容	実施期間	延べ参加人数
1	立川市富士見町体育会	50,000	小学生サッカー教室	専門の指導員による競技力向上のための講習を実施	10/18～12/25	129
2	立川市柴崎町体育会	50,000	柴崎町陸上同好会	陸上競技の大会への参加に向けて、専門の指導員による競技力向上のための講習と記録会を実施	9/5～11/27	520
3	立川市錦町体育会	50,000	小中学生ミニテニス教室	専門の指導員による競技力向上のための講習を実施	11/29～12/6	37
4	立川市曙町体育会	50,000	陸上競技教室	専門の指導員による競技力向上のための講習を実施	11/3	24
5	立川市高松町体育会	50,000	小学生ミニバスケットボール教室	専門の指導員により、競技力向上のための理論と実践講習を実施	9/13～10/26	320
6	立川市羽衣町体育会	50,000	陸上競技教室	専門の指導員による競技力向上のための講習を実施	11/16	9
7	立川市砂川体育会	50,000	陸上競技教室	専門の指導員による競技力向上のための講習を実施	11/2	9
8	立川市栄町体育会	50,000	小学生バドミントン教室	専門の指導員による競技力向上のための講習を実施	5/10～12/31	570
9	立川市若葉町体育会	50,000	小中学生空手道教室	専門の指導員による競技力向上のための講習を実施	9/1～11/30	216
10	立川市西砂川地区体育会	50,000	陸上競技教室	専門の指導員による競技力向上のための講習を実施	11/23	11
11	立川市幸町体育会	50,000	市民大会水泳練習会	水泳競技の大会への参加に向けて、専門の指導員による技術向上のための講習を実施	6/21～8/31	648
12	立川市柏町体育会	50,000	小学生・中学生陸上教室	専門の指導員による競技力向上のための講習を実施	9/27	31
		600,000				2,524



## 武蔵野市

ファミリースポーツフェア2014特別イベント「からだを動かすってたのしい！」親子で体操

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成26年4月29日

事業概要 スポーツ推進委員協議会や地元スポーツ団体等の協力を得て、例年開催しているファミリースポーツフェア（幼児から高齢者までが、ニュースポーツやレクリエーションスポーツを楽しめる自由参加体験型イベント）に合わせて、広く市民を対象としたスポーツの特別イベントを開催した。

### 【内容】

NHK「おかあさんといっしょ」10代目体操のお兄さんである佐藤弘道氏による未就学児親子を対象とした親子体操（午前・午後2回実施）を実施し、親子体操をする参加者の補助員としてスポーツ推進委員が協力した。

### 【実施場所】

武蔵野総合体育館 メインアリーナ

### 【参加人数】

1,278名（ファミリースポーツフェアとして）



## 青梅市

### 子どもわくわく体力アップ推進事業～走るの大好き青梅の子～

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力の向上に資する事業

実施期間 平成 26 年 5 月から平成 27 年 2 月

事業概要 年間を通じて体育の授業で「体の動きを考える」ことにスポットをあて、あらゆる運動に通じる「走り方（または廻り方、跳び方）」の練習を通じて、小さな「できた」という気持ちを積み重ね、効果的に基礎運動能力の向上を図った。

#### 【内容】

市内小学校 8 校に実業団陸上部（コニカミノルタ）、ランニングアドバイザー等の講師を派遣し、6 年生に走り方の講習会を開催。講師人数延べ 22 名、学校以外のスタッフ延べ 32 名で実施した。

#### 【参加人数】

587 名（小学校 8 校 6 年生全児童）



## スポーツ講演会

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 27 年 2 月 23 日

事業概要 オリンピック・パラリンピックに出場した選手を招き、子どもを始めとした市民に対し、夢と希望を与え、また地域の活性化につながることを期待し、講演会を開催した。

#### 【内容】

京谷和幸氏（バスケットボール パラリンピック選手）を招き「～夢・出会い・感謝」と題した講演会を実施した。

#### 【実施場所】

総合体育館第 1 スポーツホール

#### 【参加人数】

160 名（関係者含む）



## 府中市

### ふちゅうロープチャレンジ∞

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 平成26年4月から平成27年2月

事業概要 府中市の児童が個人やグループで継続的に楽しく、意欲をもって取り組むことができる課題を設定し、その成果を顕彰することを通して、体力向上を図ることを目的として事業を実施した。

#### 【内容・実施場所】

各小学校において、児童が意欲的に取り組むことができる長縄跳びとして、休み時間等に長縄8の字連続跳びに取り組み、市のホームページでランキングの公表、上位グループの顕彰を通して、児童の体力向上に対する意欲を高めるとともに、通年で各学校における体力向上につなげた。



## 昭島市

### 市民綱引き大会

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成26年11月30日

事業概要 市民（在勤・在学者含む）の体力及び健康増進への高揚を図るとともに、スポーツの振興、地域の交流・活性化を図るため、市民綱引き大会を開催した。

【内容】

- ①小学生の部（8人引き）
- ②一般の部（8人引き）
- ③スポレクの部（6人引き）
- ④女子の部（6人引き）

【実施場所】

昭島市総合スポーツセンター

【参加人数】

93名（10チーム）



### 昭島市制60周年記念スポーツ振興イベント

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成26年10月13日

事業概要 著名なアスリートを招いたスポーツ教室（①バドミントン②バレーボール③クライミング）を実施し、スポーツを通じ地域の活性化を図るため、広範囲の市民参加による事業を開催した。

【内容】

- ①末綱聡子氏（元日本代表）ほかによるバドミントン教室、エキジビジョンゲーム
- ②植田辰哉氏（元日本代表監督）ほかによるバレーボール教室、エキジビジョンゲーム
- ③尾川とも子氏（プロフリークライマー）ほかによるクライミング体験教室

【実施場所】

総合スポーツセンター第一・二体育館

【参加人数】

- ①61名（中学生6校33名含む）観覧者200名
- ②49名（中学生2校26名含む）観覧者100名
- ③60名（大人18名・子ども42名）観覧者80名



## 町田市

### 出張！サッカー&スポーツ栄養学

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 平成26年7月から平成27年1月

事業概要 幼稚園・保育園や小学校において、ボールを使用した簡単な運動から子どもたちが熱中する試合まで、サッカーを題材に楽しく身体を動かすとともに、スポーツに取り組む子どもに必要な栄養学を基礎から学んだ。

#### 【内容】

##### ① 出前サッカー（年間のべ116コマ）

保育園、幼稚園、小学校等へサッカーの専門コーチ（町田市ホームタウンチーム・FC町田ゼルビアサッカースクールコーチ）が、ボール等を使用した簡単な運動や、サッカー競技を基本とするスポーツを教えた。

② 出張！スポーツ栄養学（年間のべ2回）スポーツ栄養学の専門講師川崎泰代氏（フードコーディネーター）が、身体の成長の著しい小学生・中学生とその保護者を対象に、講義を行った。

#### 【実施場所】

町田市内の各小学校等

#### 【参加人数】

①延べ3,624名②延べ49名



## スポーツイベント

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成26年11月24日

事業概要 普段、広い場所でできないスポーツや、やってみたいけどチャレンジする機会がなかったスポーツをまとめて体験できるコーナーを用意し、親子でスポーツにチャレンジしてもらった。

#### 【内容】

親子でスポーツにチャレンジしてもらうことにより、スポーツへの興味促進、親子のコミュニケーション不足解消を目指し、また、各競技団体等の外部へのアピールの場として本イベントを利用してもらった。

#### 【実施場所】

町田シバヒロ

#### 【参加人数】

952名





## 小金井市

### チャレンジデー事業

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 26 年 5 月 28 日

事業概要 チャレンジデー（既定の時間帯に市内で15分以上継続して運動やスポーツを実施した人数を報告してもらい、人口をもって導き出した参加率で対戦相手の自治体と優劣を競い合う住民総参加型のスポーツイベント）を実施し、地域活性化を図った。

#### 【内容】

警察、消防、学校、企業などの市内団体の長及び小金井市の部長職を構成員として実行委員会を設置し、チャレンジデーの周知及び参加への協力を呼びかけ、当日の参加率は、25.9%となった。対戦相手の福岡県大牟田市に残念ながら敗れたが、参加していただいたことで健康寿命の増進へ向けたきっかけ作りの場となった。

#### 【参加人数】

30,291 名



## 小平市

### FC東京選手によるトークショーとサッカー教室

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 ①平成26年6月15日 ②平成26年10月26日

事業概要 ①サッカー解説トークショー及びパブリックビューイングと②FC東京コーチによるサッカー教室を行なった。

#### 【内容】

地元小平市に練習場を持つ、Jリーグプロサッカーチーム「FC東京」の元選手を招き、サッカーに関するトークショーを実施するとともに、サッカーワールドカップブラジル大会のパブリックビューイングを開催し、多くの市民にスポーツの楽しさを実感してもらった。また、別日程でFC東京のコーチを招き、サッカー教室を開催した。参加する子どもたちには、プロスポーツの厳しさや、スポーツを行うことの楽しさや喜びについて感じてもらい、意識と意欲の向上につながる内容とした。

参加者へはFC東京が地元のチームであることを知ってもらい、応援を呼びかけた。

#### 【実施場所】

①小平市民総合体育館 第1体育室 ②小平市立中央公園グラウンド

#### 【参加人数】

①1,350名（市内在住・在勤・在学の方）  
②125名（市内在住・在学の小学生および中学生）



## 日野市

### ひのっ子体カアッププラン（走力向上）

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 平成26年4月から平成27年2月

事業概要 本事業は3カ年計画で実施し、走力＝走るための「力」を身に付けることを目標に3カ年をホップ・ステップ・ジャンプさせながら、走力向上をゴールとした事業を行った。

#### 【内容】

①これまでの取組を成果として発表する事業としてスポーツ・レクリエーションフェスティバル（10月12日・13日実施 内容は、中学生「東京駅伝」大会出場候補者による選考記録会、アスリートによる走り方教室を実施した。）

②アスリート等を派遣し、児童生徒に「走る」ことの楽しさを感じさせる機会の充実を図ることを目的とした「本物体験」（元オリンピック出場選手等による陸上競技教室や講話、大学・企業陸上競技部による走り方の指導等）を実施した。事業初年度に購入した用具を使った運動を継続的に取り組んだ。

③小学校においては、昨年度に引き続き大縄跳びを共通の取り組みとし、外部講師を招き縄跳びの楽しさや、跳び方・練習方法などを学び、チームワークを育みながら運動能力の向上を図った。成果発表の場としては、子ども達が大縄跳び大会に参加し、取組みの成果を発表した。

#### 【実施場所】

各小学校



## 東村山市

### 「スポーツの力で町に笑顔を！」プロジェクト

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 ①平成26年9月7日 ②平成27年1月25日

事業概要 スポーツ都市宣言をしている東村山市では、「スポーツの力で 町に笑顔を！」を合言葉に、スポーツの力・価値を再認識してもらうアスリートとふれあいスポーツの楽しさを味わうスポーツ教室と講演会を開催した。

#### 【内容】

①スポーツ教室：福田正博氏（サッカー）を招いて、子どもたちを対象に、ドリブルやシュート練習、ミニゲームなど実施指導を行なった。講師からは、「あきらめないことが一番の才能である」などのお話があった。

②アスリート講演会：スポーツの持つ力や価値を考えるため、瀬古利彦氏（マラソン）を招いて「心で走る～私のマラソン人生～」と題した講演会を行なった。

#### 【実施場所】

①東村山市民スポーツセンター ②東村山市市民センター

【参加人数】①337名 ②120名



## 国分寺市

### 史跡駅伝事業

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 26 年 12 月 6 日

事業概要 市内在住・在学の小・中学生を対象とした駅伝大会を開催した。  
スポーツを通じて参加者の体力向上を図るとともに、国分寺市が誇る国指定史跡 武蔵国分寺跡周辺をコースとすることにより、文化・歴史とも融合したスポーツ事業として地域の交流・活性化を図った。

#### 【内容】

- ・小・中学生の部：約 7.0 km（1.4 km×5 人）
- ・小学生（5、6 年生）：男子の部 23 チーム・女子の部 12 チーム
- ・中学生（全学年）：男子の部 8 チーム・女子の部 7 チーム  
1 チーム 7 名（監督・競技者 5 人、補欠 1 人）

#### 【実施場所】

都立武蔵国分寺公園及び外周道路

#### 【参加者】

309 名（50 チーム）



## 国立市

### くにたちみんなのスポーツプラン

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 27 年 2 月 22 日

事業概要 子どもたちにスポーツの魅力と身体を動かすことの楽しさを知ってもらい、また、市内にある東京都多摩障害者スポーツセンターと連携し、昼食及び休憩会場に当センターの紹介及びパラリンピックのコーナーを設け、障害者スポーツに関する理解を深めてもらった。

#### 【内容】

東京女子体育大学の協力により、オリンピック競技の 4 種目（陸上競技・体操競技・ハンドボール・トランポリン）を大学部活動の指導者及び部員の指導により 1 競技 1 時間程度の体験をした。

#### 【実施場所】

東京女子体育大学 体育館

#### 【参加者数】

161 名



### スポーツ夢プラン

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 27 年 1 月 24 日

事業概要 子どもたちにスポーツを通じた家族や仲間との絆、豊かな人生、体力の必要性を伝えることを目的とし、また、武道必修化を受け、武道競技の選手を招いた講演会を行なった。

#### 【内容】

アテネオリンピック柔道金メダリストであり現在、国立市にある東京女子体育大学の講師・柔道部監督の塚田真希氏を講師に迎え、「メダルをもたらした魔法のことば」と題して、柔道を始めたきっかけから金メダルを取るまでの苦労や、引退した後のイギリス留学についてお話いただいた。

講演の後には、氏が監督をしている東京女子体育大学柔道部の部員たちによる実技を行なった。

#### 【実施場所】

くにたち市民芸術小ホール

#### 【参加人数】

100 名



## 福生市

### ジュニアスポーツ体験・育成事業

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 平成26年4月から平成27年2月

事業概要 基礎運動能力を遊びやレクリエーション・リズム運動(ヒップホップ等)・その他各種スポーツなどを通じて育成し、同時に運動やスポーツが好きになり、運動を日常化する子どもを育てることを目的とし事業を実施した。また、様々なスポーツを体験させることにより、子どもたちが多くの選択肢から将来運動する種目を選ぶことができる体験の提供を行った。

#### 【内容】

①キッズ体操【3】・【4】・【5】(対象は年少児から【3】は3歳～4歳児まで、【4】は4歳～5歳児まで、【5】は5歳～6歳児まで)

内容は、リズム体操、フープ・ボール・マット・トランポリン・大縄・跳び箱・バランスボール等を使用した運動。年3回、各10回

②夏休み子ども体験塾(対象は小学1年生から3年生と4年生から6年生に分けて実施)

活動内容は、リズム体操、身体・体力測定、ゲートボール、ドッジビー、カローリング等。各3回

③チャレンジドスポーツ (対象は小学1年生～6年生)

活動内容は、ストレッチ体操、身体・体力測定、大縄、ビーチボール、ミニテニス、ドッジビー等。年3回、各10回

#### 【実施場所】

市内体育施設(中央体育館を中心に屋外施設も利用し実施)

#### 【参加人数】

① 延べ 1,081名

② 延べ 153名

③ 延べ 412名



## 東大和市

### 東大和市ボウリング大会（教室）

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 26 年 8 月 3 日

事業概要 幅広い世代間及び地域の交流を目的に、スポーツといった競技性の側面とレクリエーションの側面があるボウリング競技を利用し、東大和市ボウリング大会（教室）を開催した。

#### 【内容】

小学校 3 年生以上の市民を対象とし、学年別・男女別などで 7 部門を設け、対抗形式により競技を実施した。また、ボウリングに親んでもらうことや、その後の地域活性化のツールの一つとなるよう、プロボウラーによる講義や実技指導を通じ、世代間及び地域の交流を深めた。

#### 【実施場所】

東大和グランドボウル

#### 【参加人数】

71 名





## 清瀬市

### 小・中学生の競技力向上事業

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 平成 27 年 3 月 7 日

事業概要 子どもたちの基礎体力向上及び競技力向上、また地域スポーツ活動の推進を目的に、プレナスなでしこリーグ 1 部に所属する「日テレ・ベレーザ」と同リーグ 2 部に所属する「スフィーダ世田谷FC」を講師として招いて、サッカー教室を実施した。

#### 【内容】

- ①「日テレ・ベレーザ VS スフィーダ世田谷FC」親善試合（35分ハーフ）
- ②なでしこリーガーによる清瀬市サッカー教室

#### 【実施場所】

清瀬市立下宿第三運動公園サッカー場

#### 【参加人数】

140名



## 東久留米市

### 子どもの体力運動能力向上事業

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 平成26年4月から平成27年2月

事業概要 体の正しい使い方や、球技を中心とした初心者スポーツ教室を実施し、からだを動かすことの楽しさを体験し、運動のきっかけづくりとなり、体力運動能力の向上につなげることを目的とする。過去の実施状況から効果的と思われる小学1～4年生を主な対象とした。また、初級編と入門編という名称についても見直し、対象学年毎に教室を分けて実施した。

#### 【内容】

第1回 ジュニアアクアフィットネス教室

第2回 TDSダンススクール

第3回 バレーボール運動教室①・②

第4回 バスケットボール運動教室①・②

第5回 なわとび教室①・②

※各教室8回開催、①は小学校1～2年生、②は小学校3～4年生が対象

#### 【実施場所】

東京ドームスポーツセンター東久留米（東久留米市スポーツセンター）

#### 【参加人数】

993名（第1回～第8回合計人数）



## 武蔵村山市

### 武蔵村山市少年・古希軟式野球チーム親善試合事業

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成26年9月20日

事業概要 軟式野球の普及・発展及び軟式野球を通じた地域の親睦・活性化のため、市内の少年野球チーム・古希軟式野球チームによる親善試合を行った。また、野球に関連した著名人を招き、参加者を対象とした技術指導及び講演会を行った。

#### 【内容】

##### ①親善試合

少年野球連盟代表チーム、古希軟式野球チームによる試合

##### ②技術指導及び講演会

与田剛氏（NHK野球解説者・WBC日本代表チームコーチ）を招いて、野球の技術指導及び講演（質疑応答を含め1時間半程度）を行なった。

#### 【会場】

総合運動公園運動場（第3運動場）及び総合体育館

#### 【参加人数】

① 40名 ②190名



## 羽村市

### 小・中学生サッカー技術力向上事業

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 平成 26 年 11 月 30 日

事業概要 普段からサッカーに取り組んでいる児童・生徒を対象に、一流選手の「演技」や「指導」を体験させ、サッカーの素晴らしさや楽しさを体感することにより、技術力及び意欲の向上を図り、今後のサッカー活動の充実に繋げた。

#### 【内容】

- ①サッカー教室：東京ベルディ選手及びコーチによる実技指導
  - ②ミニゲーム：東京ベルディ対羽村市選抜、ミックスチーム対抗戦
- \*小学生と中学生の部に分けて実施

#### 【実施場所】

羽村市富士見公園グラウンド

#### 【参加人数】

- ①199 名
- ②148 名（小学生の部）、51 名（中学生の部）



## あきる野市

### 著名講師による卓球教室とトークショー

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成26年8月31日

事業概要 プロ卓球選手四元奈生美さんによる「卓球教室とトークショー」を行った。

#### 【内容】

##### ①トークショー

「卓球を華やかなイメージに」と題してトークショーが行われた。ユニフォームにこだわり華やかなイメージにするため、自身のブランドを立ち上げたり専属のメイクさんを付けたりして、卓球のイメージを変え魅力を伝えて来たことも話され、参加者の方に夢と希望を与えた。

##### ②卓球教室

学年別（小・中・高・一般）に分け、全ての参加者とラリーを行い、個人のレベルに合わせて指導を行った。

#### 【実施場所・参加人数】

五日市ファインプラザ  
82名



### 著名講師によるソフトテニス教室とパネルディスカッション

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成27年1月17日

事業概要 著名講師によるソフトテニス教室とパネルディスカッションを行なった。

#### 【内容及び参加者】

##### ①パネルディスカッション

パネラー 小野寺剛氏（早稲田大学軟式庭球部監督）、高川経生氏（世界選手権優勝者）、松口友也氏（全日本社会人選手権優勝者）、森田祐哉氏（全日本実業団選手権優勝者）、鹿島鉄平氏（全日本シングル優勝者）、丹治奈津子氏（国体優勝者）

各パネラーから、ソフトテニスに関する真剣な取組みや厳しい環境に自分を置いて練習に励んだことや、大会での思い出などを話された。

##### ②初心者テニス教室

高川氏が中心となり、技を披露した。また、サーブやポレーなど基本練習を行い、レベルアップするためのアドバイスを選手から受けた。

#### 【実施場所・参加人数】

秋川体育館 140名



## 西東京市

### 子どもの競技力向上短期集中講座

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 平成 26 年 8 月 25 日から平成 26 年 8 月 28 日

事業概要 夏休み期間を利用してトップアスリートを招き、各種目 4 日間程度の短期集中講座を開催し、子どもの競技力向上を図った。

#### 【内容】

##### ①バスケットボール

倉石 平氏（早稲田大学男女バスケットボール部総監督）、塚本 清彦氏（明治大学バスケットボール部ヘッドコーチ）、外山 英明氏（エバラヴィッキーズヘッドコーチ）、野寺 和彦氏（玉川大学女子バスケットボール部監督）を招き、短期集中講座を開催した。

##### ②バドミントン

小椋 久美子氏（北京オリンピック ダブルス入賞者）を招き、短期集中講座を開催した。

#### 【実施場所】

西東京市総合体育館

#### 【参加人数】

① 58 名 ② 72 名



## 日の出町

### 多摩・島しょスポーツ振興事業 元プロ野球選手による講演会

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成27年1月25日

事業概要 スポーツの楽しさやスポーツを通じた豊かな人生、体力の必要性等について伝えるため、講演会と、終了後、実演・指導などを行った。

#### 【内容】

吉村禎章氏（元読売巨人軍外野手）に「私の野球人生について」と題し、講演をいただき、怪我から復帰した際のエピソードや、失敗を恐れず、常に前向きに頑張してほしいとのメッセージをいただいた。その後、大久野中学の生徒にバッティングの指導を行なった。

#### 【実施場所】

日の出町やまびこホール

#### 【参加人数】

100名



## 檜原村

### 檜原村スポーツ教室

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 ①平成 26 年6月 21 日 ②平成 26 年8月 2日

事業概要 子ども達や高齢化が進む地域住民の体力・運動能力の向上、健康増進に向け、スポーツを始めるきっかけづくりや技術の向上を目指し、著名人によるスポーツ教室（①ソフトボール教室②水泳教室）を開催し、地域の元気を支え、活性化を図ることを目的とする。

#### 【内容】

①高山樹里氏（シドニー、アテネオリンピックのメダル獲得に貢献）と山田美葉氏（シドニーオリンピックのメダル獲得に貢献）によるソフトボール教室とトークショーを開催。

②岩崎恭子氏（バルセロナオリンピック金メダリスト）による水泳教室とトークショーを開催。

#### 【実施場所】

①檜原村総合グラウンド②檜原小学校プール

#### 【参加人数】

①8名（小学生）、9名（中学生）、47名（地域住民）

②22名（小学生）、8名（中学生）、44名（地域住民）





## 利島村

### ジュニアサッカー育成事業

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 平成27年1月24日、25日

事業概要 子どものサッカー（フットサル）の競技力向上のため、コーチやトップ選手を招聘したサッカー教室の開催や、島しょのジュニアサッカー大会を開催し、競技力向上を図った。併せて、保護者や地域住民にも参加してもらい指導力の向上や、地域の活性化を図った。

#### 【内容】

①Jリーグ所属のジュニアコーチを招いて、子どもへの直接指導のほか、指導者への指導方法等の指導を行なった。（5回）

②日テレベレーザの有吉佐織選手と原 菜摘子選手を招いて、間近で技術と経験を披露した。

③子どもたちの競い合いや交流の場として、ファイブリーグ（大島、利島、新島、式根島、神津島）を開催。年3回を予定していたが、天候不良により1回（神津島で開催）のみとなった。

#### 【実施場所】

利島小中学校校庭

#### 【参加人数】

①307名（5回分、保護者等を含む）

②150名（観覧者を含む）



## 新島村

### 子どもの競技力向上スポーツ教室事業

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 ①平成 26 年5月 17、18 日 ②平成 26 年 11 月8、9日

事業概要 当事業は、技術及び経験・実績を持ち合わせたプロの指導者（①バレーボール②野球）を招聘し、新島の子供達に基礎的な練習、技術を指導していただき、フィールドプレイヤーとしての技術及びメンタルを向上させる事を目的とする。

#### 【内容】

①岩本洋氏（元アトランタビーチバレー女子監督）、丸山由美氏、高橋有紀子氏、永富有紀氏、多治見麻子氏（オリンピックメダリスト）により、パスなどの基礎練習や、試合形式の実践練習、ストレッチ指導を行なった。

②公益財団法人全国野球振興会より、5名のポジション別の講師に来ていただけのため、専門指導を行なった。また講師との練習試合も開催し、村内の指導者も指導方法について学べた。

#### 【実施場所】

- ①新島小学校
- ②新島いきいき広場

#### 【参加人数】

- ①延べ 40 名②延べ 30 名



## 神津島村

### 島しょサッカー大会地域活性化事業

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 26 年 7 月 20 日

事業概要 伊豆諸島の北部地域（大島・利島・新島・式根島・神津島）の男女参加可能な小学生を対象に事業を行い、合同での練習やミニサッカー大会を行い、島しょ地域の振興を深めると共にスポーツを通じた地域活性化を図った。

#### 【内容】

6チーム（神津島2チーム）でのリーグ戦全 15 試合  
学年別合同練習及びPK合戦等のレクリエーション

#### 【実施場所】

神津島村 金長運動公園

#### 【参加人数】

5島の小学生（大島町 20名・利島村 25名・新島村 24名・式根島村 13名・神津島村 55名 計 137名）及び監督、コーチ等



## 御蔵島村

### 御蔵島村民スポーツ教室

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 ①平成 26 年8月 30 日 ②平成 27 年1月 17 日

事業概要 離島では触れることのできないトップアスリートに直接触れる機会を持ち、スポーツを続けることへの意欲・希望・夢を村民に感じてもらい、地域の方々が「夢をもって生きていくこと」の大切さを再度認識する機会とした。

#### 【内容】

##### ①水泳教室

石黒由美子氏（シンクロナイズドスイミング 北京オリンピック代表選手）を招き、正しいフォームを作ることを主眼に水泳教室を実施し、その後、「夢をあきらめない」をテーマとした講演会を開催した。

##### ②バレーボール教室

大山加奈氏（アテネオリンピック日本代表）とその妹であり、ビーチバレーで活躍している大山未希氏を招き、サーブ、レシーブなどの技術を教えていただき、その後、「夢をかなえるための生き方」をテーマとした講演会を開催した。

#### 【実施場所】

①御蔵島小中学校屋内プール及び体育館

②御蔵島小中学校校体育館

#### 【参加人数】

①約 60 名（村民の 1 / 5 相当） ②約 80 名（村民の 1 / 4 相当）



## 青ヶ島村

### 青ヶ島サッカークリニック

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 27 年 1 月 31 日

事業概要 普段触れることのできないプロの動きを見たり、指導を受け、自らも動くことで、スポーツの楽しさを知る。また、子どもから大人までを参加対象とすることで、一緒にプレーを楽しみ、世代間交流を図り地域の活性化につなげた。

#### 【内容】

遊びながら、ボールコントロールやチームワークを学び、これらを活かしたゲームを行なった。

#### 【実施場所】

青ヶ島小中学校校庭・体育館

#### 【参加人数】

49 名（昼の部、夜の部合計人数）



## 体と心ほぐし教室

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 26 年 10 月から平成 27 年 2 月

事業概要 村民は日頃より、スポーツはもとより、畑仕事などで体を動かす機会が多いが、運動前後の体のケアができていないと難しいため、専門家にストレッチ等を学び、体のケア、体づくりに活かした。

#### 【内容】

全 3 回で行い、1 回目は、ペアで筋肉をほぐす運動やマッサージ、2 回目は腰や膝に負担のかからない姿勢のセルフチェック等、3 回目は運動後の筋肉のほぐし方等を学んだ。

#### 【実施場所】

青ヶ島小中学校 体育館

#### 【参加人数】

51 名（3 日間延べ）



## レイメイキング・フラダンス教室

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成26年12月と平成27年2月

事業概要 八丈島のフラダンス活動団体「コウ・リマ・ナニ・エ」より講師を招き、レイメイキング・フラダンス教室を開催した。

### 【内容】

①レイメイキング教室では青ヶ島産のティーリーフを使用することで地域活性化への貢献となり、また世代間のコミュニケーションのきっかけをつくることのできた。

②フラダンス教室（昼の部）では初心者・子ども向けの教室を実施し、（夜の部）では大人向けの教室を実施した。

### 【実施場所】

老人福祉館



### 【参加人数】

①5名（小中学生）、6名（大人）

②昼の部 5名（小中学生）、6名（大人）

夜の部 3名（小中学生）、14名（大人）

## 丸山 秋のウォーキング大会

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成26年11月23日

事業概要 池の沢地区をウォーキングしながら、空き缶拾いを実施した。

### 【内容】

5つのグループにわかれ、周遊を行った。ウォーキングと共に、空き缶拾いを実施したことで、池の沢地区の様々な道を通る意欲付けになり、世代間交流の場となった。

### 【実施場所】

丸山（池の沢ふれあいサウナ駐車場）

### 【参加人数】

23名（大人13名、小人8名、高齢者2名）





# 資料編

---





## 資料 1 多摩・島しょスポーツ振興事業助成金交付要綱

### 多摩・島しょスポーツ振興事業助成金交付要綱

(総則)

第1条 この要綱は、東京都市長会（以下「市長会」という。）及び東京都町村会（以下「町村会」という。）が多摩・島しょ地域の市町村（以下「市町村」という。）に対して、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金（以下「助成金」という。）を交付することに関して、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 助成金は、市町村が実施するスポーツの振興に資する事業（以下「スポーツ振興事業」という。）を支援することにより、多摩・島しょ地域の子どもの体力・運動能力の向上や住民の健康の増進及びスポーツ人口の拡大を図り、ひいては多摩・島しょ地域のまちの活性化及び魅力を高めることを目的とする。

(事務の委任)

第3条 町村会は、本要綱に係る事務の執行については、市長会に委任する。

(助成対象者)

第4条 助成対象者は、市町村とする。

2 助成金の申請者は、市町村長（以下「申請者」という。）とする。

(助成期間)

第5条 本要綱における助成は、平成25年度から平成25年度までの間とする。

(助成対象事業)

第6条 助成対象事業は、次の各号の一に該当し、前条に規定する助成期間内において新たに実施する事業のうち、市長会会長（以下「会長」という。）が必要と認める事業とする。

(1) 継続的に実施することにより子どもの体力・運動能力向上に資する事業

(2) 子どもの競技力の向上に資する事業

(3) スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

2 公益財団法人東京市町村自治調査会（以下「調査会」という。）の多摩・島しょスポーツ振興事業助成金交付要綱（平成24年4月1日施行）に基づき、平成24年度に助成金の交付を受けた事業については、前項の規定において助成期間内において新たに実施する事業とみなす。

(助成対象経費及び助成金の額)

第7条 助成対象経費は、助成対象事業に要する経費（施設整備等に係る経費、備品購入費（前条第1号に規定する事業において、子どもの体力・運動能力向上のために会長が必要と認めた器具の購入費は除く。）及び市町村の職員人件費を除く。以下同じ。）から、当該事業の実施に伴う収入額を控除して得た経費とする。

2 助成金の額は、助成対象経費の10分の10とし、その上限は、一市町村につき年間200万円とする。

(交付申請)

第8条 助成金の交付を受けようとする申請者は、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金交付申請書(様式1)に多摩・島しょスポーツ振興事業助成金事業計画書総括表(様式2)、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金事業計画書(様式3)及びその他会長が必要と認める書類を添付し、毎年度、別に定める日までに会長に提出しなければならない。

(交付決定及び通知)

第9条 会長は、前条の規定による交付申請があったときは、別に定める市町村共同事業助成金審査会の審査に付したうえで、助成金交付の可否を決定する。

2 会長は、前項の規定による決定をしたときは、速やかに申請者に対し、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金交付・不交付決定通知書(様式4)により通知する。

(助成事業の遂行)

第10条 前条第2項の規定により交付の決定を受けた申請者は、第8条の規定により提出した事業計画(以下「事業計画」という。)に従い、事業を適正に遂行しなければならない。なお、事業計画の主要部分についての変更は、認めないものとする。

(助成事業の変更)

第11条 第9条第2項の規定により交付の決定を受けた申請者は、通知された助成金交付決定総額の範囲内で主要部分以外の事業内容に変更(各事業において交付決定額の30%以内の額の変更を除く)の必要が生じたときは、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金変更交付申請書(様式5)に多摩・島しょスポーツ振興事業助成金事業変更計画書総括表(様式6)、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金事業計画書(様式3)及びその他会長が必要と認める書類を添付し、会長に提出しなければならない。

2 会長は、前項の規定による変更交付申請があったときは、その内容を審査し、変更交付の可否を決定する。

3 会長は、前項の規定による決定をしたときは、速やかに変更交付申請者に対し、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金変更交付・不交付決定通知書(様式7)により通知する。

4 前項の規定により変更交付の決定を受けた申請者は、第1項の規定により提出した変更後の事業計画に従い、事業を適正に遂行しなければならない。

(申請の取下げ)

第12条 第9条第2項の規定による交付決定又は前条第3項の規定による変更交付決定を受けた申請者(以下「被交付決定者」という。)は、助成金の申請を取り下げるときは、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金取下申請書(様式8)を会長に提出し、その承認を受けなければならない。

2 会長は、前項の規定による申請を受理したときは、速やかに被交付決定者に対し、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金取下承認通知書(様式9)により通知する。

(軽微な変更の届出)

第13条 第11条第1項の規定にかかわらず、被交付決定者は、事業名称の一部修正など、軽微な変更の必要が生じたときは、速やかに書面により会長に届け出なければならない。

(実績報告)

第14条 被交付決定者は、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金実績報告書(様式10)に多摩・

島しょスポーツ振興事業助成金事業実績調書総括表（様式11）、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金事業実績調書（様式12）、領収書等助成対象経費の支出を証明する書類の写し及びその他会長が必要と認める書類を添付し、別に定める日までに会長に提出しなければならない。

（助成金の額の確定）

第15条 会長は、前条の規定による報告を受けたときは、その内容の審査を行い、助成金の額を確定し、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金確定通知書（様式13）により被交付決定者に通知する。

（助成金の請求及び交付）

第16条 被交付決定者は、前条の規定により助成金の額が確定した後に、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金請求書（様式14）（以下「請求書」という。）を別に定める日までに会長に提出しなければならない。

2 会長は、前項の規定により請求書が提出されたときは、速やかに助成金を交付する。

（助成金の管理執行）

第17条 助成金の交付を受けた被交付決定者は、当該市町村の事務に準じて、適正に助成金を管理執行しなければならない。

（交付決定の取り消し）

第18条 会長は、被交付決定者が次の各号の一に該当した場合は、助成金の交付決定の全部又は一部を取り消すことができる。

（1）虚偽その他不正な手段により助成金の交付決定を受けたとき

（2）事業の実施に際して、法令に違反したとき

（3）本要綱又は交付決定に付した条件に違反したとき

2 前項の規定は、交付すべき助成金の額の確定があった後においても適用する。

3 助成金の交付を受けた被交付決定者は、助成金の交付決定が取り消された場合は、当該取り消しに係る部分の助成金を速やかに会長に返還しなければならない。

（事務の所管）

第19条 この要綱に基づく事務は、市長会事務局企画政策室が所管する。

（事業への協力）

第20条 町村会及び調査会は、市長会から事務の執行に際し、協力の依頼が有った場合は、協力するものとする。

（補則）

第21条 この要綱に定めるもののほか、助成金の交付について必要な事項は、会長が別に定める。

#### 附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行し、平成27年3月31日限りにその効力を失う。但し、第18条の規定は、失効後においてもその効力を有する。

## 資料２ 市町村共同事業助成金審査会設置及び運営要綱

### 市町村共同事業助成金審査会設置及び運営要綱

(設置)

第1条 東京都市長会（以下「市長会」という。）及び東京都町村会（以下「町村会」という。）は、市長会及び町村会が多摩・島しょ地域の魅力を高めるために実施する助成金の交付にあたり、その適否を審査させるため、市町村共同事業助成金審査会（以下「審査会」という。）を設置する。

(事務の委任)

第2条 町村会は、本要綱に係る事務の執行について、市長会に委任する。

(所掌事務)

第3条 審査会は、市長会会長の求めに応じて対象事業の内容を審査し、助成金申請者に対し必要に応じて事業実施に係る助言を行うとともに、市長会会長に助成金交付の適否について報告する。

(組織)

第4条 審査会は、市長会会長を除く次に掲げる6名の委員をもって組織する。

- (1) 市長会の代表2名
- (2) 町村会の代表1名
- (3) 学識経験者1名
- (4) 市長会事務局長
- (5) 町村会事務局長

2 委員は、市長会会長が委嘱する。

3 委員の任期は、委嘱の日から2年とし、再任を妨げない。

4 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(審査会の会長等)

第5条 審査会に、会長及び副会長を置く。

2 会長は、委員の互選による。

3 副会長は、会長が指名する。

4 会長は審査会を代表し、会務を総括する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 会長は、必要に応じて審査会を招集する。

2 審査会は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。

3 審査会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、適否同数のときは、会長の決するところによる。

4 会長は、必要があると認めるときは、審査会に委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(委員報酬等)

第7条 第4条第1項第3号に規定する委員については、東京都市長会附属協議会に対する補助金

交付要綱（平成11年4月1日施行）第3条第3号の基準に準じて報酬等を支給する。

（庶務）

第8条 審査会の庶務は、市長会事務局企画政策室において処理する。

（事業への協力）

第9条 町村会及び公益財団法人東京市町村自治調査会（以下「調査会」という。）は、市長会から事務の執行に際し協力の依頼があった場合は、協力するものとする。

（補則）

第10条 この要綱に定めるもののほか、審査会に関し必要な事項は、市長会会長が別に定める。

#### 附 則

- 1 この要綱は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 この要綱の施行の際に、調査会の市町村共同事業助成金審査会設置及び運営要綱（平成22年4月1日施行）第3条第2項の規定により、委員に委嘱されている者については、第4条第2項の規定に係らず、委員に委嘱したものとみなす。この場合の委員の任期は、第4条第3項の規定に係らず、平成26年4月30日までとする。

資料3 市町村共同事業助成金審査会 委員名簿

平成26年度市町村共同事業助成金審査会 委員名簿

平成26年4月1日現在  
(敬称略)

選出区分	氏名	所属・役職	任期
東京都市長会 (要綱第4条第1項第1号)	いなば たかひこ 稲葉 孝彦	小金井市長	平成25年8月26日～ 平成26年4月30日  平成24年5月1日～ 平成26年4月30日
	いしざか じょういち 石阪 丈一	町田市長	
東京都町村会 (同項第2号)	さかもと よしじ 坂本 義次	檜原村長	
学識経験者 (同項第3号)	すみたに あきお 炭谷 晃男	大妻女子大学 社会情報学部教授	
東京都市長会事務局長 (同項第4号)	いしい つねとし 石井 恒利	東京都市長会 事務局長	
東京都町村会事務局長 (同項第5号)	なぐら ひとし 名倉 衡	東京都町村会 事務局長	

平成 26 年度 多摩・島しょスポーツ振興事業助成事業実施報告書

平成 27 年 3 月

編集、発行 東京都市長会事務局 企画政策室

〒183-0052

東京都府中市新町 2-77-1 東京自治会館内